

オホーツク教育局 係長 森田 晃史

令和2年度採用(教育行政C)

○主な経歴

R2.4 総務政策局施設課

R4.4 オホーツク教育局



－北海道の教育行政を選んだ理由－

以前は、国家公務員として、東京都内で働いていました。40歳手前になり、地元である北海道で働きたいという思いが強くなったこと、家族からの後押しもあったため転職しました。前職からもともと教育行政を担当しており、未来ある子どもたちのために環境面から支援する仕事にやりがいを感じていたこともあり志望しました。

－勤務してみて感じたこと－

ワークライフバランスが浸透しており、働きやすい職場であることを実感しました。チームで仕事をする文化が浸透しており、休暇を取得しやすい環境であることも働きやすさのひとつです。

－担当業務とそのやりがい－

現在は、オホーツク管内の中学校部活動の地域移行業務を担当しています。推進に向けて、管内の市町村教育委員会訪問によるヒアリング調査や教育長を対象とした研修会の企画運営などを行っております。部活動の地域移行は、スポーツや文化芸術環境の再整備を通じたまちづくりのためという側面を持っており、広く地域へ貢献できるという点に非常にやりがいを感じています。

－道教委の仕事の魅力（北海道で働くことの魅力）－

国は予算を獲得し、それを地方公共団体に配分するのが主たる役割ですが、北海道教育委員会はその予算を元手に、市町村の支援のみならず、道立学校の運営等を通じて、直接的に教育経営に携われる点が魅力です。また、北海道という広域な地域性から転勤は必須ですが、その土地により風土も異なるため、新たな体験ができるということも魅力です。

－所属の雰囲気（はたらきやすさ）－

管理職の方をはじめ、皆さんが非常にフランクで、雑談を交えながら楽しく仕事をしています。オホーツク教育局は課や係の垣根を超えて、一体感を持っており、風通しの良い職場だと感じています。

－余暇の過ごし方－

オホーツク管内はイベントが盛んで、7月にはあばしりオホーツク夏祭りのメインイベントである「流水おどり」にオホーツク教育局のメンバーとともに参加してきました。その他、オホーツク総合振興局主催の職員ソフトボール大会や北見厳寒の焼き肉まつりなど、オホーツク教育局の同僚と一緒に休日を楽しんでいます。

－これから教育行政区分の試験を受験する方・採用予定者へのエール－

民間企業などから転職される方は環境などの違いに面を喰らう場面も多々あるかと思いますが、すぐに慣れます。常に従来の業務に問いかけをしながら、新たな視点で一緒に業務に取り組んでいきましょう。